

2022. 4. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行
TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

☆メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：5月10日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：6組
《4月のおはなし会で使った本》

『はい！』 間所ひさこ/脚本 山本祐司/絵 童心社 2006

『たまごをこんこんこん』（大型絵本） あかまあきこ/作・絵 チャイルド本社 2009

『わんわんわんわん』（大型絵本） 高島純/作 理論社 2020

『おえかきなあに？』 ふるのれいこ/脚本 山本祐司/絵 童心社 2015

★「第1回新刊児童書閲覧会」

○日時：令和4年5月18日（水）～5月22日（日）9：00～17：00
○会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしょじつ 3F）
○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア関係者、子どもの本に関心のある方
○定員：一人1時間、各時間帯10名程度（要申込み）
○申込方法：FAXまたは電子メール（HP上の参加申込書をダウンロードしてご利用ください。）

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター

（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

＜絵本-3, 4歳から＞

『こんとごん』 織田道代/ぶん 早川純子/え 福音館書店 2022.2 ¥900

きつねのこんとごん。似ているけれどちょっと違う。こんは、扉をこんこんとんとんとん。ごんは、ごんごんどんどん！こんが扉を開くと、おひさまきらきら、かぜさわさわ、はっぱがはらはら。ごんは、おひさまざらざら、かぜざわざわ、はっぱがざらざら。てんてんのあるなしで全く違う世界になっちゃった！清音と濁音の世界を楽しく表現し、日本語の面白さを再発見する絵本。

『ずんずんまたまたおるすばん』 ねじめ正一/文 降矢なな/絵 福音館書店 2022.2 ¥900

母さんが買い物にでかけたとき、サルたちが天井からおりてきてくつみがきをはじめ、押し入れではナメケモノたちがふとんにもぐりこみ、台所ではペンギンが冷蔵庫の中で涼んでいた。階段にはゾウ、ぼくの部屋ではフラダンスをするカピバラ、パンダにクマにキリン、次から次へ動物たちがあらわれて…。ぼくと動物たちのワクワクするお留守番タイムを描いた縦開きの楽しい絵本。

＜絵本-5, 6歳から＞

『くらべるえほん たべもの』 ちかつたけお/さく・え 学研プラス 2022.3 ¥1300

ここにてくるふたつの食べもの、何かが違う、どこかが違う。よく観察して、何が違うか考えてみよう。まずはキャベツがふたつ並んで、と思ったら…？お次はスイカの断面。あれあれ種の散らばり方が違うみたい。どうしてかな？2本のバナナ。同じように見えるけど…。単純なまちがいさがし絵本とは少し違い、似ている食べ物を比較して、何がどう違うか自由に考える絵本。

『カイマンのクロ 人とくらしのワニ』 マリア・エウヘニア・マンリケ/文 ラモン・パリシ/絵 とどろきしずか/訳 福音館書店 2022.2 ¥1400

宝石店の若旦那ファオロは、みなしごのカイマン（ワニの一種）をひきとることになりクロと名付ける。クロは人になつき宝石店の人気者になる。月日は流れ、小さかったクロも大きく成長していた。ある日ファオロはアンヘラという女性と結婚したいとクロにうちあけ、ふたりは結婚。ファオロとアンヘラとクロは穏やかで幸せな日々を送っていたが…。ベネズエラで本当にあったお話。

＜絵本-小学校中学年から＞

『そだててみたら…』 スギヤマカナヨ/作・絵 赤ちゃんとママ社 2022.2 ¥1200

学校でどんな種でもいっから育てて日記をつけよう、という宿題がでた。ぼくは種やさんに行き迷ったあげく「おたのしみ 話のたね」を買い「たねたん」と命名し育ててみることに。大事に大事に育てて最初刈り調だったけど、最近弱々しいたねたんが心配で種やさんに相談に行くと…。生き物を育てることで芽生えていく様々な思いを感じることができ、種まきがしたくなる絵本。

『北極点』 関屋敏隆/文・型染版画 ポプラ社 2021.12 ¥2000

1978年、日本大学北極点遠征隊（日大アタック隊）は、165頭の犬たちとともにベースキャンプを出発。その冒険の様子が、犬ぞりのリーダー犬クマの視点で語られる。多くの危険が待ち受ける地球最北の地、北極点を目指し、かけぬける男たちと犬たちの熱い冒険。自然の厳しさと恐ろしさ美しさが胸に迫る。壮大な雪原や犬たちの様子が型染版画で味わい深く描かれた冒険絵本。

＜読み物-小学校低学年から＞

『さかさまがっこう』 荻田澄子/作 つちだのぶこ/絵 文溪堂 2022.3 ¥1300

だいくんは小学1年生。学校で使うおはじきを忘れてしまい、先生に怒られることを心配しただいくん。「さかさまになあれ…。」と呪文のように唱えながらさかだち。すると、不思議なことに、忘れ物をして、テストの点数が悪くても、先生が褒めてくれる。よるこんでだいくん。ところが、大好きなかけっこも、まちにまった大好きな給食もさかさまに…。どうなる？

＜読み物-小学校中学年から＞

『みんなのためいき図鑑』 村上しいこ/作 中田いくみ/絵 童心社 2021.7 ¥1200

小学4年生の男の子のちん。授業参観に向けて「ためいき図鑑」を作ることになった、ちんの班。保健室登校の加世堂さんも一緒に図鑑を作ることができないかと、ちんは提案。ところが、班の他のメンバーともめてしまい…。ためいきにかくされた本音と本音がぶつかる。完成した「ためいき図鑑」も必見。第68回青少年読書感想文全国コンクール中学年課題図書。

『チョコレートタッチ』 パトリック・スキーン・キャトリング/作 佐藤淑子/訳 伊津野果地/絵 文研出版 2021.10 ¥1300

ジョンは、ごはんやおかずよりもおかしが好き。特にチョコレートが大好き。お菓子の食べ過ぎで、大きくなるために必要な他の食べ物が入らなくなって…。ある日、口にふれたものをなんでもチョコレートにかえてしまうふしぎな力を手に入れる。卵やトースト、手袋や鉛筆そして大好きなあの人までもが…。第68回青少年読書感想文全国コンクール中学年課題図書。

<読み物—小学校高学年から>

『ぼくの弱虫をなおすには』 K.L. ゴーイング/作 久保陽子/訳 早川世詩男/絵 徳間書店 2021.7 ¥1600

こわいものがたくさんある小学4年生の男の子、ゲイブリエル。「こわいものをひとつずつ克服していけば、強くなれるはず」って言われたけど…。1976年、アメリカを舞台に、偏見や人種差別の問題に、家族を巻き込みながら向かい合い、友達との絆をもとに、苦手を克服する子どもたちの成長を描いた心にひびく物語。第68回青少年読書感想文全国コンクール高学年課題図書。

『風の神送れよ』 熊谷千世子/作 くまおり純/絵 小峰書店 2021.10 ¥1500

優は小学6年生の男の子。地域に伝わる行事を任された頭取、凌の補佐役に。コロナ渦、疫病退散の願いをこめて、「コトの神」を谷へ送る。人知をもって計ることのできない力は確かにある。荘厳な力を祀り、知恵を出し合って生きている。様々な困難に立ち向かい、地域の伝統や思いを守る子どもたちの姿を鮮やかに描く。第68回青少年読書感想文全国コンクール高学年課題図書。

<読み物—中学生から>

『階段ランナー』 吉野万理子/著 徳間書店 2022.1 ¥1700

家庭の事情で水泳を辞めた奥貫広夢。卓球の試合中に突然ボールが打てなくなった三上瑠衣。二人が出会ったのは高校2年生の学年末に下校時間を過ぎた校舎の屋上。同じくその場にいる社会科教師高桑曜太郎のブログを介して階段に興味をもった二人は、大学受験と並行して「京都駅大階段駆け上り大会」にエントリーすることに。階段上りを通して前向きに進んでいく二人の成長物語。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『おすしやさんにいらっしやい!』 おかただいすけ/文 遠藤宏/写真 岩崎書店 2021.2 ¥1600

海で生きているところを釣り上げられた、キンメダイ、アナゴ、イカ。前から横から角度を変えて観察すると新しい発見が。筆者は、寿司屋を開業するかたわら、子どもたちに魚のさばき方を見せたり寿司のワークショップを開いたりなど様々な活動に取り組んでいる。命をいただいて生きていることを写真と共に伝える本。第68回青少年読書感想文全国コンクール低学年課題図書。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『この世界からサイがいなくなってしまう』 味田村太郎/文 学研プラス 2021.6 ¥1400

あと20年たつと、角をねらった密猟によって、アフリカからサイがいなくなってしまうかもしれない。公園や保護区をパトロールするレンジャー、科学で立ち向かう科学者、密猟を事前に防ぐ女性レンジャー。南アフリカで取材を行った著者が描く、サイを守ろうとする人々と密猟者の戦いの記録。第68回青少年読書感想文全国コンクール中学年課題図書。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『自分を信じて』 大野益弘/監修 美甘玲美/執筆 宮嶋幸子/執筆 あかね書房 2022.4 ¥1500

緊急事態宣言下での開催となった東京オリンピック・パラリンピック2020。無観客という前例のない大会に参加したアスリートたちはどのような思いでその舞台に立ったのか。支えてくれた人々への感謝、競技の楽しさを広めたいという思いをもって果敢に挑む選手達(競泳の大橋悠依、陸上競技の三浦龍司ら)を取り上げる。『輝くアスリートの感動物語』シリーズの第1巻。

<ノンフィクション—中学生から>

『生き物が大人になるまで 「成長」をめぐる生物学』 稲垣榮洋/著 大和書房 2020.8 ¥1400

民法の改正で今年度から成人年齢が引き下げられたが、人間の「大人」と「子ども」の境界ははっきりしない。しかし、生物の中には「幼体」と「成体」の姿が全く異なるものがある。光村図書中学国語1『ダイコンは大きな根?』の筆者でもある植物学者が、様々な生物の「成長」の様子を人間と比較しながら紹介。「学ぶこと」や「大人になること」について考えさせられる1冊。

『建築家になりたい君へ』 隈研吾/著 河出書房新社 2021.2 ¥1400

著者は2020東京オリンピック会場となった新国立競技場を手がけた建築家。代々木競技場に衝撃を受けて10歳で建築家を志し、親子で自宅の増改築を楽しんだ少年の、現在に至るまでの体験記。著者の代表作の多くに木材が使われている背景にも言及。SDGsの視点からも読める1冊。14歳の世渡り術シリーズ。第68回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 高等学校の部。

<研究書>

『これだけは読んでおきたいすてきな絵本100』 木村美幸/著 風鳴舎 2022.2 ¥1800

絵本学会会員で、数多くの絵本セミナーを行ってきた著者が、発達段階に応じた絵本の選び方のポイントを解説。0~7歳までの年齢別に紹介した100冊の絵本には「保育・子育てのねらい・トピックス」を掲載。100冊に加えて、コラムと「気になる絵本」で様々なテーマで絵本を紹介。本書初版刊行時点で流通がある絵本を取り上げている。巻末に索引あり。

『まどさんの詩で時間割 声にのせ、言葉をそだてる。』 いわなべたいじ/編著 かもがけ出版 2021.12 ¥1800

著者は長年、子どもと詩をむすぶ試みを実践してきた元小学校教師。本書では、4年生の学習課程をモデルに、1週間の1時間に1編ずつまど・みちおの詩を配置し、子どもたちが詩を楽しむ姿を紹介。詩をどう読むかの解説、ではなく、まどさんの詩が教室の中の子どもの姿が重なるエピソードを数多く掲載。巻末には、掲載した52編の出典・参考文献リスト、「さくいん」あり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

